

# 3 M™ ベアーハガー™ ブランケット 使用のポイント

**アンダーボディブランケット Model 635**

広範囲を加温できる手術台に敷くタイプ

**仰臥位**



販売名：3 M ベアーハガー ペーシエントウォーミング ブランケット／認証番号：223ADBZX00108000

3 M、ベアーハガーは、3 M社の商標です。

本資料に関するお問い合わせは、スリーエム ジャパン株式会社 医療用製品事業部：[3mhc.jp@mmm.com](mailto:3mhc.jp@mmm.com) へお願いいたします。

広範囲を加温できる手術台に敷くタイプ

仰臥位



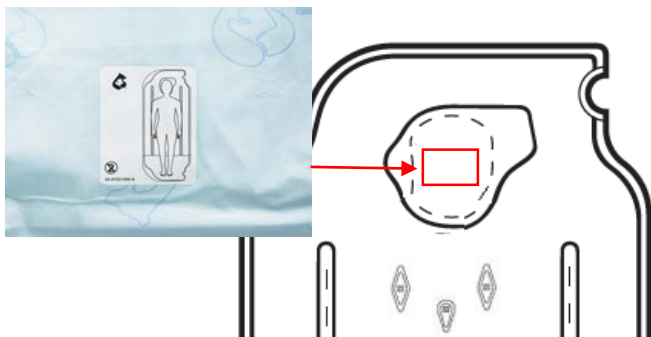
【シーン：準備】

# ウォーミングブランケットの手術台へのセッティング

Point 1

位置決め

頭部にシールが貼付されている面(孔がある面)を上にして、手術台に敷く。



🔍 ワンポイント！

温風流路確保のため、頭部側を手術台からブランケットが15cm程度出るように位置を合わせる。



Point 2

固定テープによる  
手術台への固定

ズレ防止のため、裏側(手術台側)の頭部・足側2箇所にある固定用テープのライナー紙をはがし、手術台に固定する。



Point 3

フラップによる  
手術台への固定

両サイドのフラップを手術台のマットに挟み込み、固定する。



広範囲を加温できる手術台に敷くタイプ

仰臥位

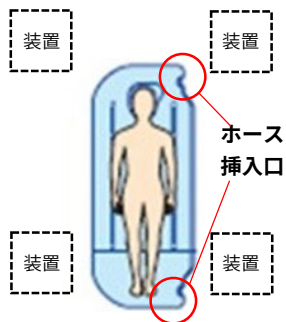


【シーン：準備】

# 温風式加温装置のセッティング

## Point 1 位置決め

他の医療機器等を考慮して、温風式加温装置の位置を決める。ウォーミングブランケットには挿入口が2箇所あり、それぞれの挿入口側もしくは反対側に装置をセットすることが可能。



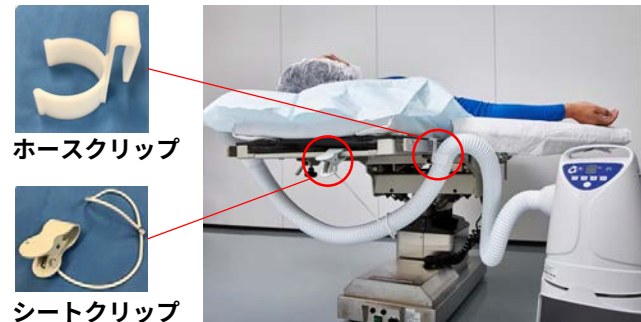
## Point 2 エア-ホースの接続

設置した装置に近い方の挿入口のホースカードを外す。挿入口を変更したい場合は、外したホースカードで再度塞ぐ。



## Point 3 固定具を活用したエア-ホースの固定

高温になったエア-ホースが患者体表面に近づきすぎないように、必要に応じて固定具を活用する。



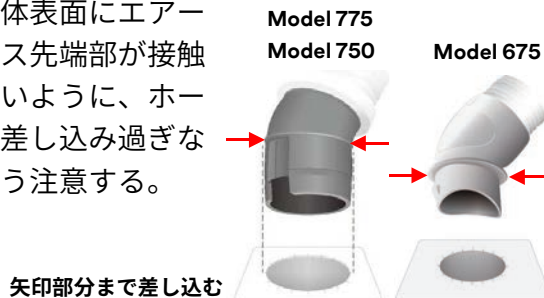
### ワンポイント！

挿入口の反対側に装置をセットした場合は、エア-ホースを手術台の下から通すなどして、固定具等を使用し固定する。(Point 3を参照)



### ワンポイント！

患者体表面にエア-ホース先端部が接触しないように、ホースを差し込み過ぎないように注意する。



### ワンポイント！

患者体表面にエア-ホースが接触すると熱傷のおそれがあるので注意する。



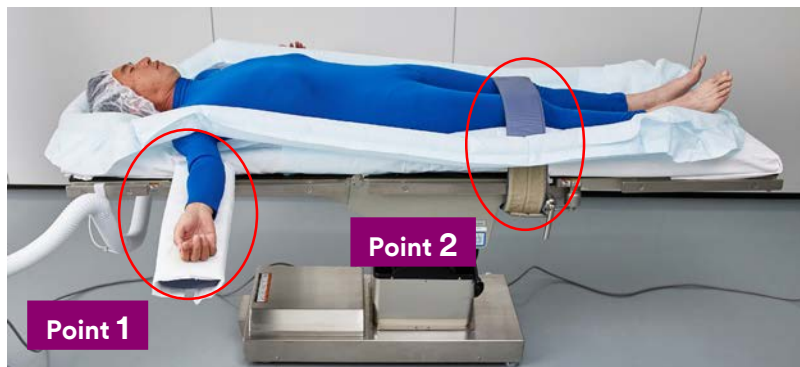
広範囲を加温できる手術台に敷くタイプ

仰臥位



【シーン：体位固定】

## 固定具のセッティング



### Point 1

### 上肢の位置を検討

上肢を出す場合は、スリットを開いて上肢を通すことができる。



手台の下にスリットをまわしたり、上肢を体側にそろえた状態でのセッティングも可能。

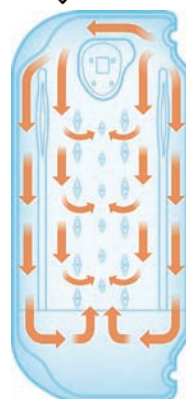


### Point 2

### 温風流路の確保

温風流路を確保するため、固定具や固定バンド等はブランケットのミシン目を開いてセットする。

#### 🔍 ワンポイント！



温風流路が塞がれると、患者全体を温風で包み込む「対流の質」が損なわれるため、温風流路を確保するように固定具をセットする。



広範囲を加温できる手術台に敷くタイプ

仰臥位



【シーン：体位固定】

# 透明ヘッドドレープの使用

### Point 1

### 頭部からの放熱を防ぐ

ブランケットに同梱されている透明ヘッドドレープは、保温カバーとして頭部を覆うと、頭部からの放熱を防ぐ効果がある。

ただし、気管内挿管による人工呼吸器の使用時にのみ使用する。



※気管内挿管による人工呼吸器の使用時以外に透明ヘッドドレープを使用しないこと。

### Point 2

### 固定用粘着テープで固定

透明ヘッドドレープの一端には固定用粘着テープが付いており、ライナー紙をはがしてブランケットまたは手術台、患者のいずれかに固定することもできる。



広範囲を加温できる手術台に敷くタイプ

仰臥位



【シーン：体位固定】

## 温風流路の確認

### Point 1

### 頭部・上腕部の流路を確認

体位固定後、温風式加温装置を稼働させ、温風流路が圧迫されていないことを確認する。  
仰臥位では特に頭部と上腕部の流路を確認するとよい。

<頭部>



<上肢>



<下肢>



### ワンポイント！

術者に影響がある場合、片側をテープ等で閉塞させ流路を遮断することも可能。ただし、反対側の温風流路を確保する。

反対側は流路を確保する



広範囲を加温できる手術台に敷くタイプ

仰臥位



【シーン：皮膚消毒】

## 化学熱傷対策

### Point 1

### アイソレーションドレープの使用

ウォーミングブランケットには排液口があるが、消毒薬の貯留を防ぐために防水性のアイソレーションドレープ(未滅菌)で隔離する、または吸水パッドを使用するなどの工夫をする。

貼付時には、シワができないように  
圧着してください。

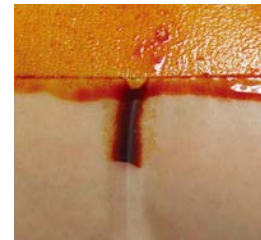
3 M™ ステリ・ドレープ™  
アイソレーションドレープ

3 M™ ステリ・ドレープ™  
アイソレーションドレープを  
ブランケットの外に垂らします。



### ワンポイント!

貼付時に粘着部にシワができる  
と液垂れの原因になるため、シ  
ワができないよう圧着する。



### 3 M™ ステリ・ドレープ™ アイソレーションドレープ (未滅菌)



しなやかなポリエチレンフィルムのドレープ。防水フィルムなので液体の浸透を防ぎ、バリア性が得られる。プリカットタイプと自由な長さにカットできるディスペンサー付ロールタイプがある。